

ART project

GEIBUN オープンエアミュージアム in 環水公園

2012 年度と 2013 年度の取り組み

富山大学芸術文化学部准教授 渡邊 雅志



「HAPPINESS BIRD PROJECT」運河を見つめる魚柄のカワセミ（2012）

趣旨

富山県と富山大学は、「富山県と国立大学法人富山大学との連携に関する協定書」により連携協力を行っています。その一環として、富山大学芸術文化学部の学生および教員の作品を、富山県の代表的な公園である富岩運河環水公園に展示する「GEIBUNオープンエアミュージアム in 環水公園」を2010年より開催しています。富岩運河環水公園を利用される多くの市民の方々に、豊かな緑あふれる公園の中で芸術文化学部の作品に触れる機会を提供し、公共空間に現れた様々な作品を通じて、日常にある驚きや楽しさ、そして喜びを実体感していただきたいと考えています。この取り組みが、芸術文化が社会や環境そして人々に豊かな創造性を伝え、日常生活に潤いを与える力があることに気がつき、今後の富山の新しい魅力として繋がっていくことを願っています。

2012年度の取り組み

開催日：2012年9月15日（土）～10月14日（日）

会 場：富岩運河環水公園

主 催：富山県、富山大学芸術文化学部

出品数：野外展示54点、屋内展示13点の計67点

出品作品：

オープニングイベント 1

「クモの巣プロジェクト」

公園内に巨大な「クモの巣」を公開制作する作品。公園にある既設の街灯を利用して1日で作品を創りあげます。張られていくロープが次第に作家的な造形パターンを現しはじめ、ある瞬間からクモの巣だとわかります。公園内を散策する人々が興味を惹かれ「クモの巣」に集まってきます。楽しくなった子どもたちがクモの巣に入り込むと、まるで捕まった昆虫か、あるいはクモに見えてきます。いつの間にか作品は鑑賞から体験する作品へ変わっていきます。誰もが知っている日常に驚きと楽しさがあることを、日常にある環水公園で気がつくことができるのです。

森田志宝、北川知里、小孫ゆかり、林夏海

齊藤晴之（芸術文化学部准教授（当時）、現・本学部教授）



「クモの巣プロジェクト」クモの巣に入って遊ぶこどもたち（2012）

オープニングイベント 2

「木っば」でものづくり」

様々な大きさやかたちの木っば（木片）を自由に組み合わせ、色を塗って作品をつくるワークショップ。青空のもと、テントを張って風と日差しを感じながら、屋外の「ものづくり」です。

石黒聖那、麥田志織

内藤裕孝（芸術文化学部講師）



「木っば」でものづくり」ワークショップ風景（2012）



「夢りんごプロジェクト」願いを込めて描かれた絵馬（2012）

「環境造形」

環水公園という環境を考慮した作品。

阿部佑子、石黒千景、森田志宝、森本倫子、井澤郁子

「CODON'12 ー再生」

後藤敏伸（芸術文化学部教授）

「遺構から・Ⅰ」「遺構から・Ⅱ」「遺－Fe・12－」

中村滝雄（芸術文化学部教授）

「記憶の芽 sprout of memory」

「まどろみのとき Nap chair」

齊藤晴之（芸術文化学部准教授（当時）、現・本学部教授）

「HAPPINESS BIRD PROJECT」

公園内の様々な場所にバードカービングで制作された鳥を、地図を片手に散策しながら発見する作品。昨年度の作品19羽に加え、新たにカワセミを1羽追加。展望塔内には鳥のかたちのカードを用意して、自由に鳥を描いてもらうブースも恒例となっている。集まった鳥のカードは800枚。

畦地拓海、國元麻里奈、坂本恵理、桜井裕子、高橋ゆり、渡邊雅志（芸術文化学部准教授）

「空間デザインB（家具）授業成果作品」

県産杉間伐材を素材に椅子をデザイン・制作する2年生対象授業。指導は丸谷芳正芸術文化学部教授。

宮崎和也、吉田奈緒、Lee Chun Sien、竹野美里、平野暉、堀昭仁、三宗愛美、南坂謙、金森千晶、川縁百佳、佐々木綾子、高橋咲、竹内友紀、赤崎裕也、扇田満弘、大島堅太、片山拓野、加藤雅大

「メディアインスタレーション展」

夜の公園で行われた1日限定のメディアインスタレーション展。指導は西島治樹芸術文化学部講師。

上島美夏、高橋朋代、山口歩那

「金魚と錦鯉」

石をペイントして水に沈めると、さざ波にゆられてあたかも泳いでいるように動き始めます。

井澤郁子、佐伯香奈、橋本朋香、浜屋友実、松村季依、渡邊雅志（芸術文化学部准教授）

「ショーケースプロジェクト」

透明なアクリルケースに入れられた作品が展望塔の中にちりばめられています。

金坂美緩、中村友香、野尻恵梨華、桧垣仁希、松下奈緒美、井澤郁子、佐伯香奈、橋本朋香、浜屋友実、松村季依、桜井裕子、高橋ゆり



「ショーケースプロジェクト」塔内壁面に取り付けられている（2012）

「夢りんごプロジェクト」

りんごの絵馬にあなたの夢を描きましょう。描いた絵馬は公園の木に結びます。夢が実りますように。会期中3回のワークショップを行い、170枚の絵馬が描かれた。

井澤郁子、佐伯香奈、橋本朋香、浜屋友実、松村季依、渡邊雅志（芸術文化学部准教授）



「表出 - WIRE WORK 013- II -」中村滝雄（2013）



「どこからきて どこへいくのだろう そしてここはどこなんだろう」平田昌輝（2013）

2013年度の取り組み

開催日：2013年9月15日（土）～10月14日（日）

会 場：富岩運河環水公園

主 催：富山大学芸術文化学部

出品数：野外展示27点、屋内展示18点の計45点

出品作品：

オープニングイベント

「クモの巣プロジェクト」

昨年に引き続き、巨大な「クモの巣」を公開制作。今年は作品の傍らに記念撮影用の椅子を設置。子どもたちをモデルに撮影する姿が見られた。

森田志宝、横澤幸、江越知比呂

Art for all（芸術文化学部アートイベントサークル）

齊藤晴之（芸術文化学部准教授（当時）、現・本学部教授）

「“木っば” でのづくり」

昨年に引き続き、屋外で木片を使ったものづくりワークショップを開催。

Art for all（芸術文化学部アートイベントサークル）

内藤裕孝（芸術文化学部講師）

「環境造形」

環水公園という環境を考慮した作品。

森井大仁、森本倫子

「CODON - over the water '13」

後藤敏伸（芸術文化学部教授）

「表出 - WIRE WORK 013- I -」

「表出 - WIRE WORK 013- II -」

中村滝雄（芸術文化学部教授）

「aura」

齊藤晴之（芸術文化学部准教授（当時）、現・本学部教授）

「どこからきて どこへいくのだろう

そしてここはどこなんだろう」

平田昌輝（芸術文化学部講師）



「クモの巣プロジェクト」記念撮影をする観覧者（2013）



「CODON - over the water '13」後藤敏伸（2013）



「aura」齊藤晴之（2013）



「空間デザインB（家具）」昨年の会期終了後から使われているベンチ（2013）

「ナイトミュージアム（映像作品展示）」

夜の公園で行われた1日限定の上映会。展望塔の内部や壁面に映写し多くの来園者が足を留めていた。指導は西島治樹芸術文化学部講師。

種川真章、古田紗也、本多里帆

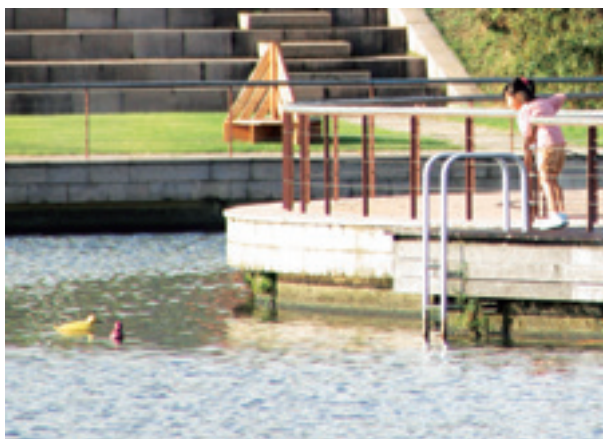
「HAPPINESS BIRD PROJECT」

バードカービングで制作された鳥を20羽設置。鳥のかたちのカードに自由に鳥を描いてもらうブースも引き続き設けた。今回集まった鳥のカードは600枚。

畦地拓海、國元麻里奈、坂本恵理、桜井裕子、高橋ゆり、渡邊雅志（芸術文化学部准教授）



「秘密基地」種川真章 展望塔壁面に映写される映像作品（2013）



「HAPPINESS BIRD PROJECT」カモを見つけた来園者（2013）

「金魚と錦鯉」

稲沢瞳、野尻絵梨佳、内田千月、中谷幸菜、森井大仁、浜屋友美

渡邊雅志（芸術文化学部准教授）

「ショーケースプロジェクト」

野尻恵梨華、稲沢瞳、井澤郁子、佐伯香奈、橋本朋香、浜屋友実、松村季依、堂庭志保、小槻有、金森和希

「夢りんごプロジェクト」

りんごの絵馬に夢を描いて公園の木に結びます。夢が実りますように。会期中3回のワークショップを行い、200枚の絵馬が描かれた。

Art for all（芸術文化学部アートイベントサークル）

渡邊雅志（芸術文化学部准教授）

今後に向けて

本展は2013年度で4回目の開催を終了することが出来ました。展覧会が継続するためには様々な検討を重ねなければなりません。継続することを念頭に置いた予算化はもちろん、イベントや作品の質も問われます。また、本展が来園者の方々にどのように受けとめられているのかも知る必要があります。4年目ともなると「今年も子どもたちと一緒に鳥を探しますね!」「絵馬を描いて夢が叶いました!」など、嬉しい声を聞くことがあります。昨年度の会期後から公園内で使われているベンチは、来園者の休息の場として利用され続けています。

環水公園が常に多くの来園者で賑わい続けていることで、富山県がいかに質の高い環境を提供し、来園者が大切に利用しているかがわかります。芸術や文化が育まれる環境とはこのような場所であると思うのです。私たちは、カモを見つけた女の子の笑顔で、確実に、明るい未来に向かっていくと確信することができるのです。